第283回柏崎地域早期景気観測調査　報告書

ー　令和5年6月期　ー

【インデックス】

1　全産業(P.2)
2　建設業(P.3)
3　製造業(P.4)
4　卸売業(P.5)
5　小売業(P.6)
6　サービス業(P.7)

〔調査方法〕

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員ＤＩについては今期水準）および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をＤＩ値で表します。

ＤＩ値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

ＤＩ値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」－「悪化」
【売上】…「増加」－「減少」
【採算】…「好転」－「悪化」
【資金繰り】…「好転」－「悪化」
【仕入単価】…「下落」－「上昇」
【従業員】…「不足」－「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」－「困難」

〔調査対象業種〕

建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

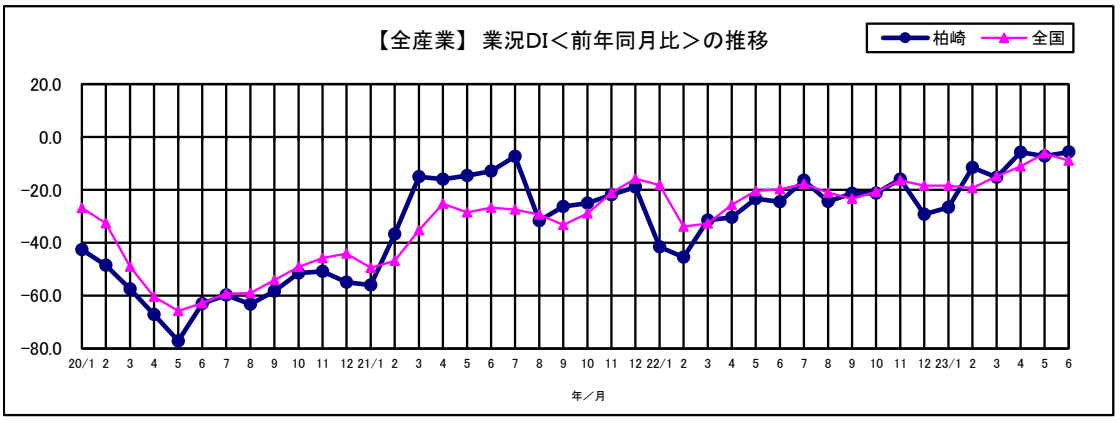
〔調査対象数・回答状況〕

業　種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	38	45	27	26	36	172
回答数	25	32	14	12	24	107
回答率(%)	65.8%	71.1%	51.9%	46.2%	66.7%	62.2%

柏崎商工会議所

◆概況（全産業合計）

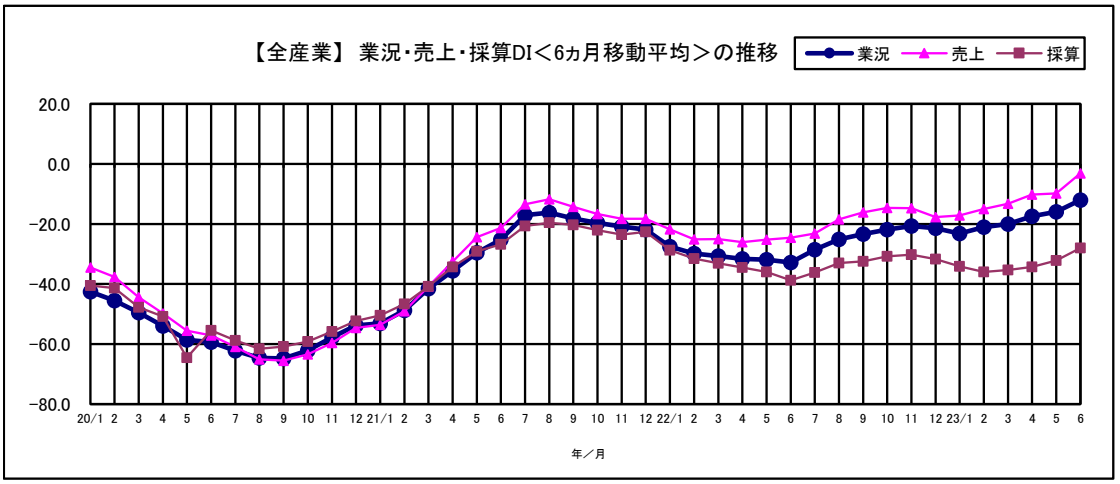
項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	▲ 26.6	▲ 11.6	▲ 15.2	▲ 5.8	▲ 7.2	▲ 5.7	▲ 10.2
	全　国	▲ 18.4	▲ 19.4	▲ 14.8	▲ 11.1	▲ 6.2	▲ 8.9	▲ 10.2
売　上	柏　崎	▲ 13.5	▲ 8.1	▲ 0.5	3.8	▲ 10.1	9.7	▲ 7.3
	全　国	▲ 2.6	▲ 3.0	1.9	6.3	5.7	4.0	0.0
採　算	柏　崎	▲ 45.0	▲ 42.5	▲ 26.6	▲ 14.6	▲ 19.9	▲ 19.6	▲ 14.8
	全　国	▲ 23.7	▲ 26.7	▲ 20.1	▲ 16.0	▲ 12.3	▲ 14.1	▲ 15.0
資金繰り	柏　崎	▲ 16.0	▲ 12.1	▲ 9.7	▲ 6.4	▲ 7.1	▲ 6.0	▲ 11.2
	全　国	▲ 15.9	▲ 16.9	▲ 15.1	▲ 12.9	▲ 10.6	▲ 12.3	▲ 12.9
仕入単価	柏　崎	▲ 73.6	▲ 77.6	▲ 70.4	▲ 66.5	▲ 67.5	▲ 63.6	▲ 53.9
	全　国	▲ 74.5	▲ 76.3	▲ 75.1	▲ 74.4	▲ 70.4	▲ 69.4	▲ 60.5
従業員	柏　崎	20.4	14.5	▲ 15.4	20.9	▲ 21.7	18.1	21.9
	全　国							21.4
資金借入難易感	柏　崎	1.7	▲ 2.1	▲ 1.7	2.1	0.3	0.6	▲ 0.1



＜移動平均分析（全産業）＞

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがありますが、移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



【6月期全国全産業の動向】

●全産業合計の業況DIは、▲8.9

サービス業では、飲食・宿泊業等で需要回復は継続する一方、深刻な人手不足に伴う受注機会の損失で、業況は悪化した。また、小売業では、物価高により消費者の日用品等の買い控えが継続しており、スーパー等を中心に悪化した。卸売業でも、梱包資材価格の高止まりに加え、小売業・サービス業からの引き合い減少で悪化した。建設業・製造業では、設備投資需要が堅調に推移する一方、度重なるコスト増に価格転嫁が追いついておらず、横ばいに留まった。・ 原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト増加が継続する中、コロナ禍からの挽回消費にも一服感が見られ、中小企業の業況は悪化に転じた。

●先行き見通しDIは、▲10.2

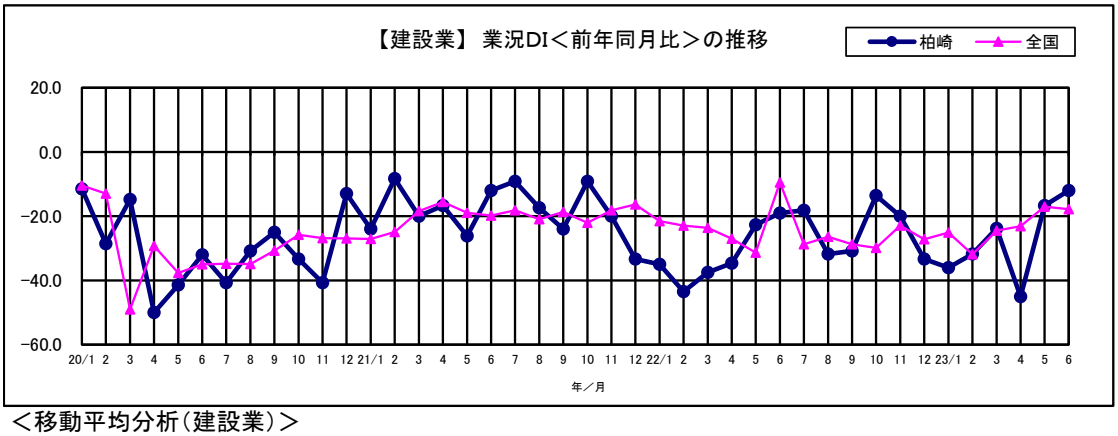
インバウンド・国内観光需要の回復や、企業の設備投資の増加等、経済活動のさらなる改善が期待される。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰によるコスト負担増や人手不足への対応等は長期化しており、経営の足かせとなっている。また、価格転嫁実施後に受注・販売数量の減少が生じたとの声もあり、中小企業の経営課題は多様化し、慎重な見方が続いている。

【6月期柏崎全産業の動向】

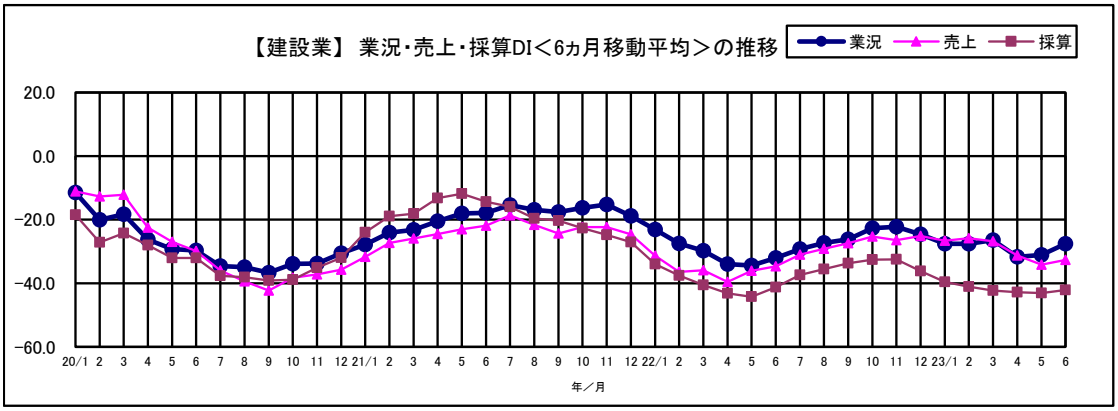
業況・採算・資金繰り・仕入れ単価DIでマイナス幅の縮小が見られたが、仕入れ単価DIは依然として原材料・エネルギー価格高騰の影響により、非常に低い水準での推移となっており、全産業でこのような傾向となっている。売上DIは卸売業・小売業・サービス業の売上増加の影響からプラス域へと転じた。

【建設業】

項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	▲ 36.0	▲ 31.8	▲ 23.8	▲ 45.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0
	全　国	▲ 25.1	▲ 31.9	▲ 24.5	▲ 23.1	▲ 17.0	▲ 17.8	▲ 14.7
売　上	柏　崎	▲ 32.0	▲ 40.9	▲ 28.6	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 16.0	▲ 36.0
	全　国	▲ 17.1	▲ 22.4	▲ 11.9	▲ 13.8	▲ 13.6	▲ 15.6	▲ 5.6
採　算	柏　崎	▲ 52.0	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 35.0	▲ 37.5	▲ 40.0	▲ 40.0
	全　国	▲ 29.9	▲ 37.2	▲ 26.6	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 22.2	▲ 18.8
資金繰り	柏　崎	▲ 20.0	▲ 13.6	▲ 9.5	▲ 10.0	▲ 12.5	▲ 12.0	▲ 16.0
	全　国	▲ 7.8	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 8.8	▲ 8.8
仕入単価	柏　崎	▲ 64.0	▲ 77.3	▲ 81.0	▲ 70.0	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 48.0
	全　国	▲ 81.4	▲ 81.4	▲ 84.4	▲ 83.1	▲ 76.8	▲ 74.1	▲ 64.7
従業員	柏　崎	28.0	27.3	19.0	15.0	33.3	32.0	44.0
	全　国							35.0
資金借入難易感	柏　崎	▲ 4.0	▲ 4.5	▲ 4.8	15.0	▲ 4.2	0.0	▲ 4.0



＜移動平均分析（建設業）＞



【全国建設業の動向】

建設資材やエネルギー価格の高騰継続、民間工事の需要停滞が見られるものの、政府の補正予算による公共工事の受注増が下支えし、ほぼ横ばい。事業者からは、人手不足や2024年問題への対応に苦慮する声が多く聞かれた。

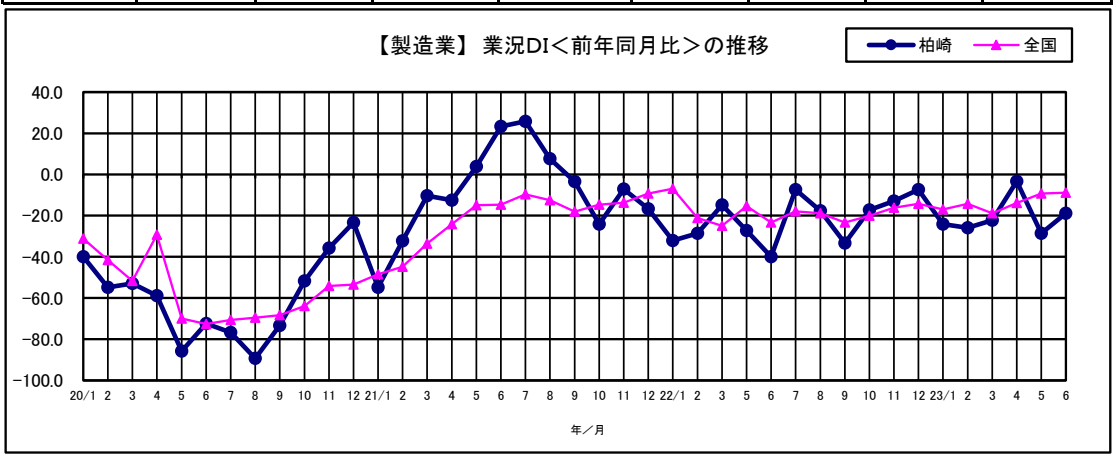
＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「公共工事の件数は、自社の対応可能な件数を上回る水準で推移している。自社の受注数を増やすため、人材確保に努めているが、採用等にかかるコストが重く、収益を圧迫している」（管工事業）
・「2024年問題に向け、働き方改革に取り組んでいる。人手不足は受注競争に大きく影響するが、対応は難航している」（一般工事業）

【柏崎建設業の動向】

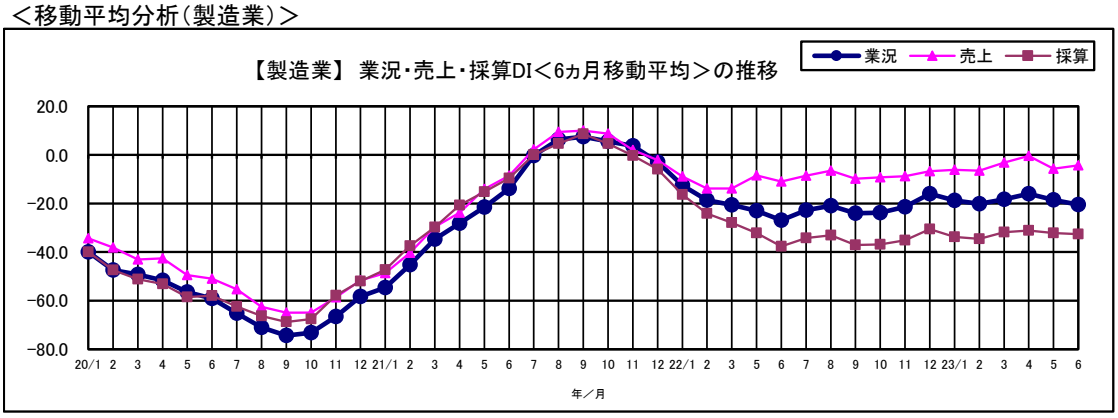
業況・売上・資金繰り・仕入れ単価DIでマイナス幅の縮小が見られた。一方で採算DIではマイナス幅の拡大となった。また従業員DIは小売業と並んで、人手不足感が強い。

【製造業】

項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	▲ 24.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 3.3	▲ 28.6	▲ 18.8	▲ 12.5
	全　国	▲ 16.9	▲ 18.4	▲ 18.9	▲ 13.9	▲ 9.2	▲ 8.8	▲ 12.3
売　上	柏　崎	0.0	▲ 11.1	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 3.1	▲ 9.4
	全　国	4.2	▲ 1.6	1.2	8.4	9.9	13.3	0.2
採　算	柏　崎	▲ 41.4	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 35.7	▲ 28.1	▲ 15.6
	全　国	▲ 25.0	▲ 29.5	▲ 25.5	▲ 21.2	▲ 14.2	▲ 14.0	▲ 15.4
資金繰り	柏　崎	▲ 17.2	▲ 11.1	▲ 7.4	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 3.1	▲ 12.5
	全　国	▲ 17.7	▲ 18.4	▲ 17.1	▲ 11.8	▲ 13.1	▲ 13.3	▲ 15.2
仕入単価	柏　崎	▲ 79.3	▲ 77.8	▲ 81.5	▲ 76.7	▲ 71.4	▲ 65.6	▲ 50.0
	全　国	▲ 81.3	▲ 82.0	▲ 78.7	▲ 76.5	▲ 73.3	▲ 69.6	▲ 52.2
従業員	柏　崎	20.7	11.1	11.1	23.3	10.7	12.5	15.6
	全　国							10.7
資金借入難易感	柏　崎	6.9	3.7	7.4	10.0	3.6	3.1	3.1



＜移動平均分析（製造業）＞



【全国製造業の動向】

国内の設備投資需要は堅調に推移しているものの、原材料・エネルギー価格の度重なる高騰による収益圧迫は継続しており、業況はほぼ横ばい。事業者からは、価格転嫁の実施後に取引先からの受注数が減少したという声も聞かれた。

＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「価格転嫁を取引先から受け入れてもらえた。しかし、価格改定後は取引先からの受注数が減少しており、継続する原材料・エネルギー価格の増加に対し、都度の値上げを実施したいところだが、足踏みせざるを得ない状況である。」（調味料製造業）
・「5類移行後、対面や試飲など営業方法も多様化し、売上は増加基調。一方、コスト増は続いており、採算は横ばいである」（茶・コーヒー製造業）

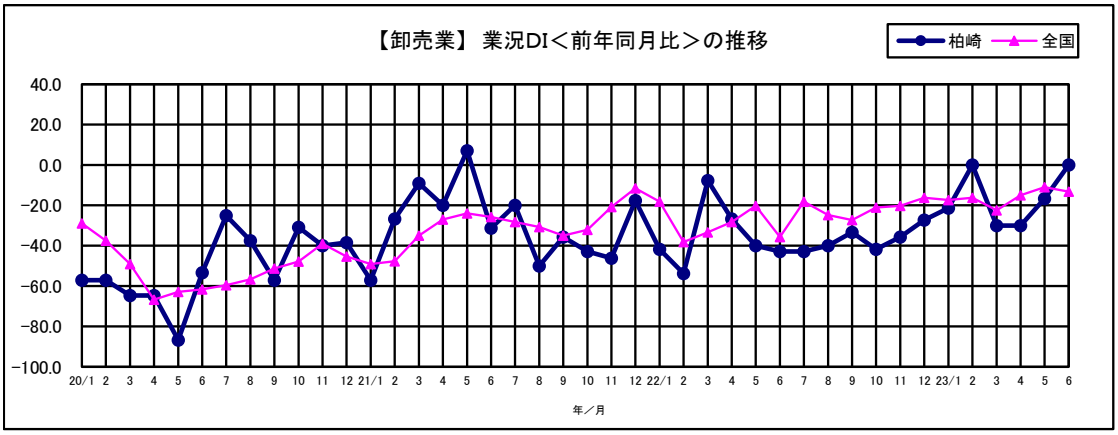
【柏崎製造業の動向】

業況・売上・採算・資金繰り・仕入れ単価DIでマイナス幅の縮小が見られた。

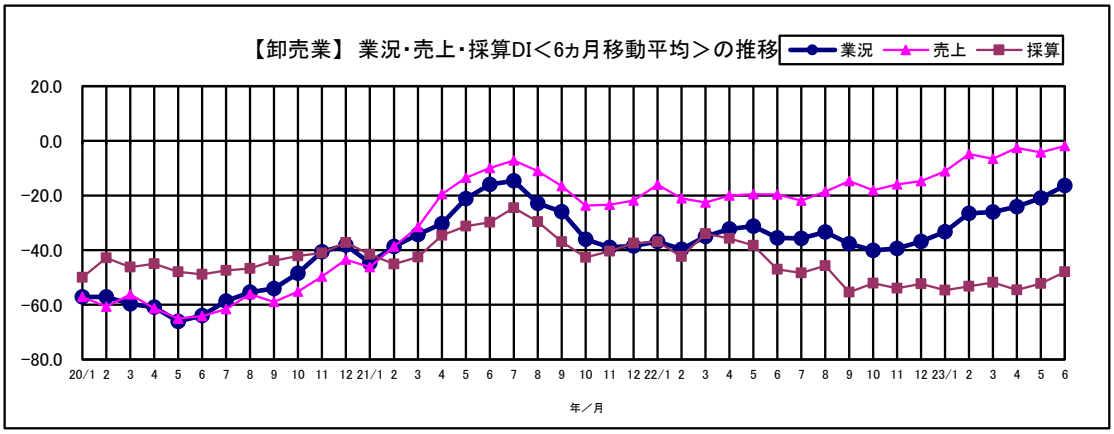
＜柏崎商工会議所に寄せられた声＞
・ユーザーの動きが鈍くなった。昨年度の動きが強すぎる感があったが、その反動が出始めたか．．．少々不安感有り。

【卸売業】

項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	▲ 21.4	0.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 16.7	0.0	▲ 7.1
	全　国	▲ 17.3	▲ 16.4	▲ 22.4	▲ 15.0	▲ 11.0	▲ 13.2	▲ 15.6
売　上	柏　崎	0.0	11.1	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	14.3	0.0
	全　国	▲ 1.3	2.2	0.0	4.2	5.5	1.6	▲ 2.1
採　算	柏　崎	▲ 64.3	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 14.3
	全　国	▲ 23.6	▲ 20.4	▲ 20.3	▲ 16.7	▲ 13.1	▲ 14.8	▲ 15.6
資金繰り	柏　崎	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 14.3
	全　国	▲ 13.8	▲ 6.6	▲ 15.2	▲ 10.4	▲ 11.4	▲ 9.5	▲ 10.7
仕入単価	柏　崎	▲ 78.6	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 71.4	▲ 50.0
	全　国	▲ 67.1	▲ 73.0	▲ 73.0	▲ 64.6	▲ 67.1	▲ 67.1	▲ 60.5
従業員	柏　崎	7.1	0.0	20.0	40.0	25.0	7.1	14.3
	全　国							16.5
資金借入難易感	柏　崎	▲ 7.1	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3



＜移動平均分析（卸売業）＞



【全国卸売業の動向】

輸送費や梱包資材費の高騰が継続する中、挽回消費に一服感が見られ、小売・サービス業からの引き合いが減少し、悪化。一部の事業者からは、台風等の悪天候被害による農作物の価格高騰で収益圧迫を苦慮する声も聞かれた。

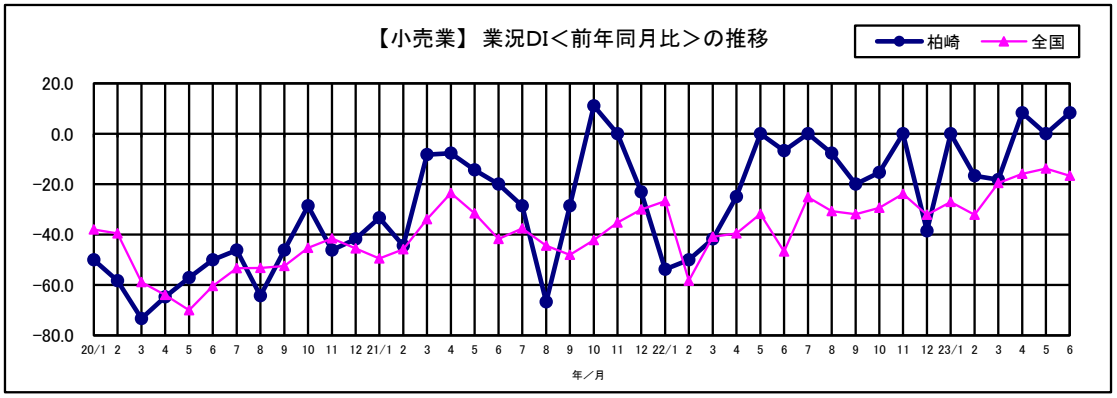
＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「仕入れ価格の上昇に伴う価格転嫁が難航している。加えて賃上げの圧力もあり非常に苦しい状況」（再生資源卸売業）
・「台風の接近による悪天候の影響で、夏野菜が十分に生育しておらず、供給量が減少したことで生鮮食品の価格が高騰。商品価格の負担に加え、輸送費等も増加するため、収益を圧迫している」（農畜産水産物卸売業）

【柏崎卸売業の動向】

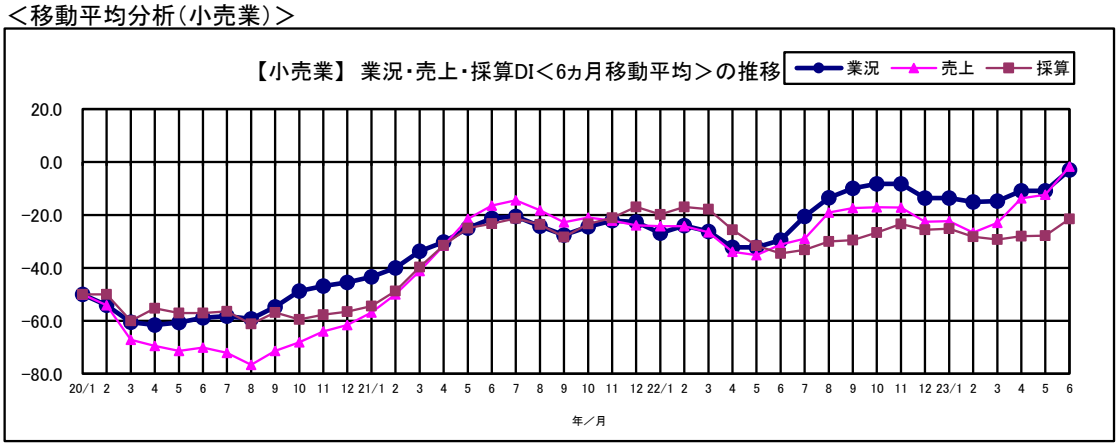
業況・売上・採算・資金繰りDIでマイナス幅の縮小が見られた。一方で仕入れ単価DIではマイナス幅の拡大となった。

【小売業】

項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	0.0	▲ 16.7	▲ 18.2	8.3	0.0	8.3	8.3
	全　国	▲ 27.1	▲ 25.9	▲ 19.5	▲ 15.9	▲ 13.8	▲ 16.7	▲ 15.9
売　上	柏　崎	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	25.0	0.0	25.0	8.3
	全　国	▲ 12.8	▲ 8.6	▲ 6.8	2.2	▲ 3.8	▲ 4.9	▲ 7.6
採　算	柏　崎	▲ 27.3	▲ 41.7	▲ 36.4	0.0	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 8.3
	全　国	▲ 28.5	▲ 28.4	▲ 23.4	▲ 18.8	▲ 16.4	▲ 17.6	▲ 21.1
資金繰り	柏　崎	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 16.7
	全　国	▲ 24.2	▲ 24.0	▲ 19.7	▲ 19.0	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 18.1
仕入単価	柏　崎	▲ 63.6	▲ 66.7	▲ 54.5	▲ 58.3	▲ 61.5	▲ 41.7	▲ 41.7
	全　国	▲ 73.7	▲ 75.6	▲ 74.2	▲ 77.6	▲ 68.4	▲ 71.3	▲ 67.2
従業員	柏　崎	18.2	33.3	18.2	50.0	30.8	33.3	25.0
	全　国							15.9
資金借入難易感	柏　崎	0.0	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 7.7	0.0	0.0



＜移動平均分析（小売業）＞



【全国小売業の動向】

インバウンド需要の増加で百貨店では免税品・高付加価値商品の販売が好調な一方、物価高やエネルギー価格の高騰により、食料品や日用品等の買い控えが継続するスーパーや商店街が下押しし、全体は悪化。

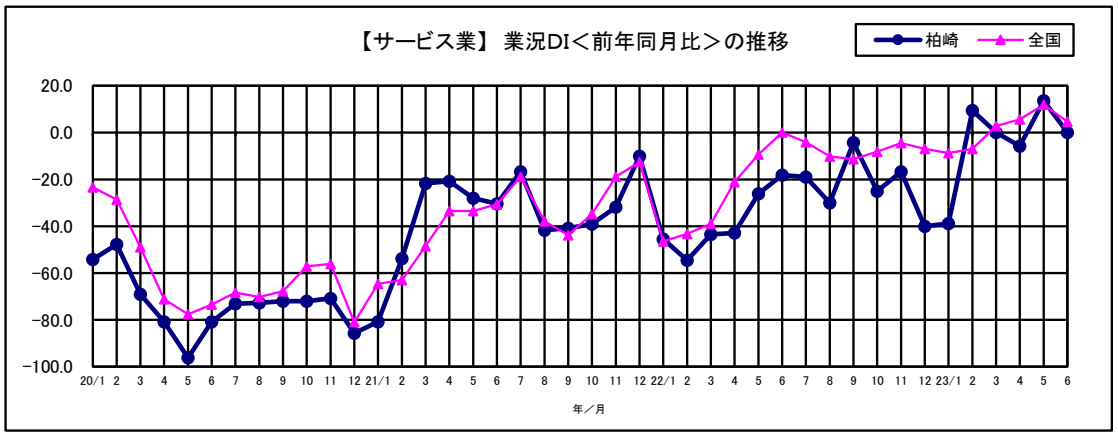
＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「5類移行に伴う人流回復により、化粧品・トラベル用品・衣料品など、外出時に使用するものへと売れ行きがシフトしている」（百貨店）
・「物価高騰や電気代・ガス代の高止まりにより、消費者の買い控えが進んでいる。価格転嫁が進み、販売価格は上昇しているものの、客数・購入点数がともに減少しているため、売上は横ばい。今後のさらなる個人消費の低下で売上の悪化が懸念される」（総合スーパー）

【柏崎小売業の動向】

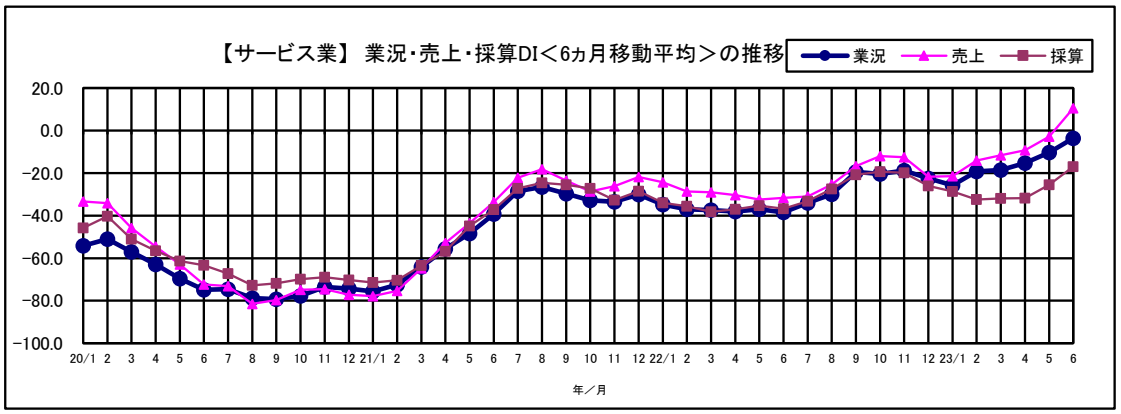
業況・売上・採算・仕入れ単価DIでマイナス幅の縮小が見られた。一方で資金繰りDIではマイナス幅の拡大となった。従業員DIは建設業と並んで、人手不足感が強い。
＜柏崎商工会議所に寄せられた声＞
・コロナウイルスの5類移行により、行事・イベントは実施傾向にあるが、コロナ前より縮小しての実施となっており、発注数等（金額面でも）コロナ前までは復活していない現状。
・6月も市内の需要は厳しさを感じた。県外販売も厳しかったがEC販売が堅調に推移した。全体としては昨対並みだった。今後は県外・ECに注力して行きたい。
・えんま市での売上を期待したが、2階に来る人は少なく、売り上げに繋がりませんでした。

【サービス業】

項　目		23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	23年6月	先行き見通し 7月～9月
業　況	柏　崎	▲ 38.9	9.5	0.0	8.3	13.6	0.0	▲ 8.3
	全　国	▲ 8.8	▲ 8.6	2.8	5.6	11.9	4.7	1.8
売　上	柏　崎	▲ 22.2	▲ 19.0	23.8	8.3	13.6	25.0	0.0
	全　国	7.8	10.0	▲ 19.4	21.5	21.6	15.0	10.4
採　算	柏　崎	▲ 44.4	▲ 42.9	▲ 4.8	0.0	9.1	▲ 4.2	▲ 4.2
	全　国	▲ 14.7	▲ 18.7	▲ 8.1	▲ 1.4	1.9	▲ 6.1	▲ 7.0
資金繰り	柏　崎	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 4.8	▲ 4.2	4.5	0.0	▲ 4.2
	全　国	▲ 13.5	▲ 17.9	▲ 11.0	▲ 11.8	▲ 6.4	▲ 10.0	▲ 10.2
仕入単価	柏　崎	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 66.7	▲ 62.5	▲ 68.2	▲ 70.8	▲ 66.7
	全　国	▲ 67.3	▲ 69.5	▲ 67.4	▲ 68.7	▲ 66.5	▲ 66.0	▲ 60.7
従業員	柏　崎	22.2	4.8	14.3	4.2	18.2	12.5	16.7
	全　国							30.5
資金借入難易感	柏　崎	5.6	0.0	0.0	▲ 4.2	4.5	4.2	4.2



＜移動平均分析（サービス業）＞



【全国サービス業の動向】

5類移行により飲食店や宿泊施設への客足は引き続き堅調であるものの、経済活動の回復に伴う需要増に対する人手不足や、電気代等のコスト負担増が継続して重荷となり、悪化。

＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「顧客の店内利用・テイクアウト・デリバリーともに増加傾向であるが、それに対応する人材の確保が難しい状況である。業務効率化を図るべく、補助金活用等も視野に入れつつ設備投資を計画している」（飲食店）
・「インバウンド・国内観光需要の増加で客足は回復しているが、従業員を確保できず、対応に苦慮している」（一般乗用旅客自動車運送業）

【柏崎サービス業の動向】

売上DIにおいてプラス幅の拡大が見られた。業況・採算・資金繰り・仕入れ単価DIはマイナス幅の拡大となった。